

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 3 月 5 日

審査機関名 (株)JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	小国町のスギ材を熱源とする融雪・暖房用 バイオマスボイラー導入
排出削減事業者名	小国町
排出削減共同実施 事業者名	オリックス株式会社 オリックス環境株式会社
事業実施場所	小国町（山形県西置賜郡小国町）
事業の概要	小国町の歩道や役場庁舎駐車場の融雪・暖房用ボイラーをバイオマスボイラーに転換することにより、重油使用量や CO2 排出量を削減するとともに、町内のスギ間伐材の有効利用を推進する。
排出削減量の計画	279 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,231 tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2008年11月11日 終了予定日 2013年3月31日
排出削減方法論	方法論番号001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所： 小国町 (山形県西置賜郡小国町)</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO₂ 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 1994年に設置された既存の重油焚きボイラー合計2台は、その法定耐用年数である15年を超えているが、毎年定期点検を実施してきており、本事業が実施出来ない場合、継続的に使用できることを現品で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数計算の根拠データ及び検算により、本事業の投資回収年数は12.9年であることを確認した。</p> <p>4) 山形県小国町は従来から、省エネルギーやCO₂削減活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>本事業は、国内クレジット制度の活用により町内のスギ間伐材の有効活用を活性化させる取り組みである事を確認した。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画に参加していないことについては、現地有効化審査において、排出削減事業者への質問により、自主行動計画に参加していない企業であることを確認した。</p>
排出削減方法論に基づいて実施されること	<p>1) 本排出削減事業は、承認済方法論001に基づき排出削減を計算しており、方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認した。</p> <p>承認済方法論001</p> <p>適用条件1 バイオマスへの燃料転換であり、ボイラー効率の改善については問われないことを確認した。</p> <p>適用条件2 ボイラーの更新を行わなかった場合、既存のボイラーを継続的に利用できることを関係者への質問や現物確認により確認した。</p> <p>適用条件3 ボイラーの更新をした事業者は、更新後のヒートポンプで製造した蒸気または温水を自家消費するだけでなく外部にも供給されているが、その供給量は適切に把握されて</p>

	<p>おり、自家消費分のみを方法論の対象とすることができることを関係者への質問や現物確認により確認した。</p> <p>できることを関係者への質問や現物確認により確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ関係者への質問により確認した。</p> <p>3) 本事業で使用するバイオマス燃料の輸送等に係るリーケージ排出量については、本排出削減事業の排出削減量の5%に満たないことを、排出削減事業者の計算書により確認した。</p> <p>なお、ベースライン排出量計算において妥当性の乏しい引用数値につき説明を求め、適切に修正されたことを確認した。</p>
--	---

4. 特記事項

現地有効化審査を実施した結果、是正の必要な指摘事項があり、その是正処置の完了を確認致しました。

又、小国町内で発生する林地残材を使用していること、並びにプロジェクト開始前には未利用である事を、排出削減事業者への質問により確認致しました。

以上